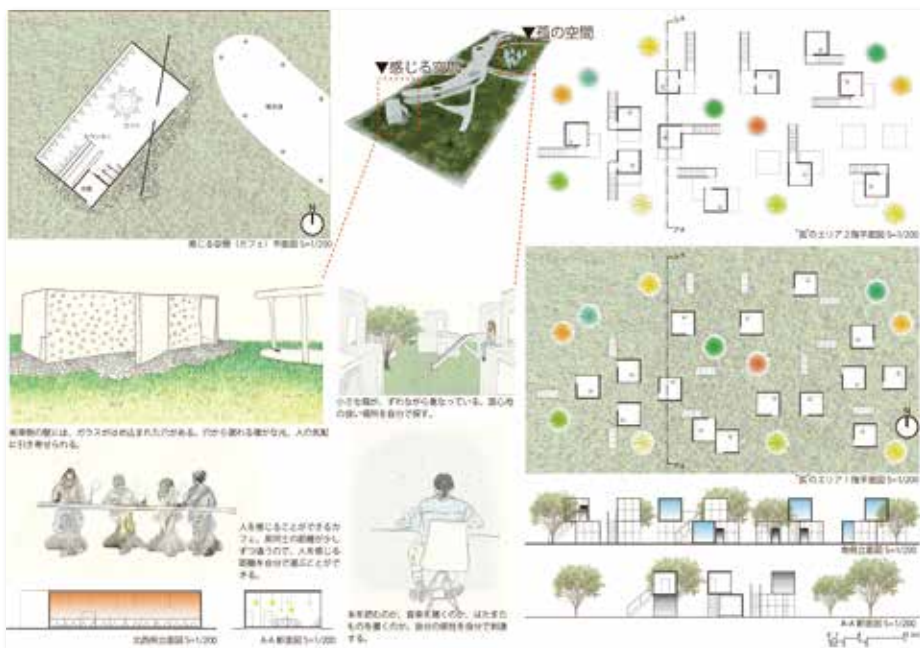


居場所 ～大人たちの休憩所～

大角 日和 (おおすみ ひより)
千葉県立市川工業高等学校 建築科



千葉県館山にある公園。

そこは子供たちがただ楽しく遊ぶような公園ではなく、大人達がひっそりと自分の居場所を見つけ、自分を見つめる公園である。

一人でいたいのか、人を感じていたいのかその時の自分の気持ちで、自分の足で居場所を探す。

コーヒーを片手に黄昏るのか、本の世界に浸るのか、どんな過ごし方をするのもあなた次第。

社会で疲れきった大人達が静かな自然の中で気持ちと感性を研ぎ澄ます場所である。

講評

大人たちは疲れきっていると感じた作者は、館山の海岸に場所を定め静かな自然の中で気持ちと感性を研ぎ澄ます大人だけの居場所を計画した。ふわふわした雲のような大きなボリュームの日陰を作り出すシェルター、カチッとした高い密度でより添うヒューマンスケールでコテージのような建築、この2つが微妙なバランスで配置されている。どこでどう過ごすのもあなたの自由ですよと問いかける。

とても詩的な作品だ。特に用途があるような無いようなこの提案は見る人(我々疲れた大人たち)の頭の中を覗き込んでいるようなところがある。図面レイアウトも美しく、適度な余韻をもち高校生とは思えないセンスが感じられる。どうすればもっと良い案になるかなど、特に思いつかない完成度だ。

数年後作者が大人になった時に、高校生の時にはこんなことを考えていたのだと思い出し、自分の居場所を再確認するのかもしれない。

さらに建築を勉強し様々な知識を吸収、経験を積むことになると思うが、このピュアな感性は失わず保ち続けてほしい。

(審査委員：神成 健)